

大学院特別講義のご案内

◆日時：2022年5月17日（火）17：30～19：00

◆場所：大講義室

◆講師：東京医科歯科大学 教授 金澤 学 先生

◆演題：有床義歯補綴のデジタル化

◆要旨：

有床義歯補綴は難易度が高く，習熟が困難とされている．デジタル化はこれらの問題を解決し，有床義歯補綴の効率化と均質化が期待される．本講義では有床義歯補綴のデジタル化の変遷と世界の動き，そしてこれからの有床義歯補綴の臨床・教育・研究について当分野で行ってきた取り組みをベースに紹介したい．

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

- ◆日時：2022年7月5日（火）18：45～20：15
- ◆場所：大講義室
- ◆講師：神出 計先生，樺山 舞先生
（大阪大学大学院医学系研究科・教授）
- ◆演題：地域ヘルスプロモーション研究の重要性；能勢健康長寿研究の推進
- ◆要旨：我々が行う地域住民の健康寿命延伸を目指した家庭血圧測定普及による地域介入コホートの取り組み（能勢健康長寿研究）を紹介し、栄養摂取促進の観点から歯科の介入の重要性をお伝えします。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

- ◆日時：2022年7月19日（火）17：30～19：00
- ◆場所：大講義室
- ◆講師：東京医科歯科大学教授 松尾浩一郎先生
- ◆演題：脳卒中患者への口腔機能管理
- ◆要旨：脳卒中発症後，口腔機能障害の障害は摂食機能に問題を引き起こす可能性がある．そこで，われわれは口腔機能障害が摂食嚥下障害のリスク因子となるか脳卒中回復期の患者を対象に横断的に検討し，その後の歯科的介入が口腔機能と摂食機能の回復にどのように影響したか発表する。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

日時：令和 4年 10月 6日（木）午後 5時30分～午後 7時00分

場所：F棟 5階 弓倉記念ホール

講師：山崎 和久

理化学研究所生命医科学研究センター

演題：*Fusobacterium nucleatum*と口腔・全身の健康

要旨：*Fusobacterium nucleatum* は高い頻度で口腔内に存在し、プラークの病原化に深く関わっているが、red complex細菌比べて歯周病の発症・進行における役割に対する注目度ははるかに低い。また、近年腸管内での病原性も注目されている。

本セミナーでは、*Fusobacterium nucleatum* と口腔・全身の健康についてみなさんと考察してみたい。

大学院生以外の先生方も参加していただきます様、お願い申し上げます。

*新型コロナ感染対策のため、弓倉ホールは収容人数が削減されております。
参加希望者は、口腔治療科に事前にお問い合わせください。（口腔治療学講座・内線2932）

大学院特別講義のご案内

- ◆日時：2022年10月18日（火）17：30～19：00
- ◆場所：大講義室
- ◆講師：新潟大学教授 小野高裕先生
- ◆演題：「噛む」を気づき・測り・変える 一咀嚼行動変容介入研究を経験してー
- ◆要旨：習慣的な咀嚼行動（「早食い」や「大食い」など）と健康との関係については、古くから指摘されながらエビデンスが乏しく、歯学分野にとっても大きなフロンティアです。我々は、2017-2018年度、2019-2021年度の2回にわたってAMEDの支援により新規IoTデバイスを用いた咀嚼行動変容介入研究を行う機会を得ましたので、そこから得られた経験と知見についてお話ししたいと思います。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

Special lecture for graduate students

- ◆Date : December 5th (Mon) in 2022 18:00-19:30
- ◆Venue : 大講義室
- ◆Lecturer : Dr. Orapin Komin. Department of Prosthodontics. Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University. Thailand.
- ◆Title : Dentistry in Thailand Today and Future: Chulalongkorn University
- ◆Abstract : The scope of the lecture will deal with what is going on for the dental school in Thailand especially in Chulalongkorn University. Then, the structure of both undergraduate and postgraduate level will be shown. Some of the research undergoing in the department of Prosthodontics will be introduced. The future aspect for the Dentistry in Thailand will be discussed.

問い合わせ先：歯科補綴学第二教室（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

日時：令和 4年 12月 15日（木）午後 5時30分～午後 7時00分

場所：F棟 5階 弓倉記念ホール

講師：岩崎 正一郎 先生（本学 41回生）

医療法人 岩崎歯科診療所 奈良県 橿原市

演題：リグロス®の活用範囲拡大の可能性について

要旨：歯周組織再生薬剤 リグロス®を適用することで、従来よりも質の高い治癒が得られることを多く経験しています。当診療所で20年近く取り組んできた垂直歯根破折歯の接着再植治療においても、幾度かの治療方法の改良を経て、歯根破折によって著しく喪失した歯周組織の顕著な再生が確認された症例にまで至りました。

それ以外にも、歯周外科はもちろんのこと、意図的再植、ソケット プリザベーション、インプラント手術において、優位性のある治療経過を呈した症例を供覧し、リグロス®の活用範囲拡大の可能性を提示したいと存じます。併せて、冒頭にて、当診療所で行ってきた歯根破折歯の保存治療について、破折の状態をその対処法に応じて分類して、ご説明させていただきます。

大学院生以外の先生方も多数参加していただきます様、お願い申し上げます。

*新型コロナウイルス感染対策のため、弓倉ホールは収容人数が削減されております。
参加希望者は、口腔治療科に事前にお問い合わせください。（内線2932）

大学院特別講義のご案内

日時： 令和 4年 12月 22日 (木) 午後 5時30分～午後 7時00分

場所： F棟 5階 弓倉記念ホール

講師： **Mark Ryder, DMD**

Professor and Chair, Division of Periodontology, Department of Orofacial Sciences,
School of Dentistry, University of California, San Francisco

演題： *P. Gingivalis and the Mouth-Brain Connection*

要旨： To establish a link between periodontitis and Alzheimer's Disease requires studies that first establish an association between these two diseases, followed by *in vitro*, animal model, and human studies to identify possible underlying biological mechanisms, and finally assessing the benefits of periodontal therapy in general and targeted therapies against the microbiota and inflammatory responses in periodontitis. Over the past several years, there has been new and compelling evidence that bacteria, viruses, and their products found in dental plaque may invade the brain where they may be a key early triggering event in Alzheimer's Disease as well as other forms of cognitive impairment/dementia. In this presentation, an update on the current correlation and biological mechanisms that link these two diseases, with special emphasis on the keystone periodontal pathogen *Porphyromonas gingivalis* and its key family of gingipain enzymes will be presented. There is recent evidence for slowing the progression of Alzheimer's Disease through periodontal therapy in general as well as focused therapies directed against *Porphyromonas gingivalis* and its gingipains. These intervention studies, together with recent association and biological mechanism studies, strengthen the evidence for a direct link between these two diseases. In addition, these recent studies support the special role of the dental practitioner in the management of patients with cognitive decline.

* 新型コロナ感染対策のため、弓倉ホールは収容人数が削減されております。
参加希望者は、口腔治療科に事前にお問い合わせください。（内線2932）

大学院特別講義のご案内

◆ 日時：1月24日（火） 17:15～18:45

◆ 場所：弓倉記念ホール

◆ 講師：Markus Haapasalo 先生

（University of British Columbia）

◆ 演題：The future of endodontics

◆ 要旨：This lecture focuses on technology, research and some key aspects including clinical application of GentleWave[®], which is a novel device with the concept of a minimally invasive root canal process that preserves tooth structure and promotes early healing.



問い合わせ先：（歯科保存学教室・内線2927）

新型コロナウイルス感染対策のため、弓倉記念ホールは収容人数が制限されております。参加希望者は、歯科保存学教室まで事前にお問い合わせください。

大学院特別講義のご案内

- 日時： 令和5年2月3日（金） 18:00～19:30
- 場所： F棟5階 弓倉記念ホール
- 講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生理学分野 准教授 岡本 圭一郎 先生
- 演題： 「新潟発・生活習慣の工夫による健康増進法

～米発酵食品はストレスや痛みを解消できるのか？歯や骨の健康に貢献するのか？～」

- 要旨： 食生活の工夫は健康生活の維持に重要です。本発表は新潟県の代表的な“食”を生かした健康増進法の開発に必要な根拠の提示を目的とし、以下の2点を議論します。
（1）酒粕や日本酒はストレスを解消できるか？（2）酒粕エキ스는硬組織の健康維持に関与するか？です。
（1）ではストレスモデル動物が示す負の情動や痛みに対する酒粕エキスの摂取や日本酒の影響についてを、（2）では酒粕エキスが歯髓細胞あるいは骨芽細胞の機能発現におよぼす影響について紹介します。米発酵食品と健康に関する我々の基礎研究のデータと新潟大学の取り組みを紹介します。



問い合わせ先：口腔生理学教室 加藤隆史（2882）

* “口の難病セミナー” を兼ねます。